

2017-18年度会長総括 会長 水本由幸



今期の、会長総括をいたします。

昨年の7月、会長の任に就き、どうにか1年を迎えることができました。当初、「水本にまかせて大丈夫か、途中でポシャらんか」との向きも大いにあったのではないかと思いますが、とにかく1年間勤めることはできました。非常に消極的な云い方で申し訳ありませんが、30年の長崎西ロータリークラブの歴史に汚点だけは残さないようにと勤めてきましたが、果たしてどうでしたでしょうか。ともあれ任期を終えることができましたのは、ひとえに会員皆さんのご協力があったことと感謝いたします。

先ず申し上げますのは、チャーターメンバーの柳さんが昨年12月に、荒木さんが5月に亡くなられたことです。荒木さんは退会されていましたが1年を過ぎていませんでしたので、まだ会員であるような心境でした。チャーターメンバーの方の、クラブ創立時のご苦労は並大抵なことではなく、その後に入会した私など思いもかけないことがあったと想像します。あらためてお二人のご冥福をお祈りいたします。幸い柳さんのご子息の柳龍一郎さんが、柳さんの後を次いで7月に入会される予定になっています。

8月29日に中村ガバナー補佐の出席の下、クラブ協議会が、翌週には駒井ガバナー、笠地区幹事を迎えてガバナー公式訪問がありました。今期の行事の中でも最も不安な例会でしたが、会員皆様の協力で無事終了することができました。また11月18日には地区大会が佐賀市にて開催され、12名の方の参加がありました。惜しむらくは、会員歴が浅い会員の参加が少ないことがありました。普段聞くことの出来ないRIの動向などの情報を得ることができ、参加されると有意義なものになると思います。

地区からの強い要請であるクラブの定款細則を、RIが勧めている標準ロータリークラブ定款の組織編成に基づき、いわゆるCLPに変更いたしました。向後場面々々に応じて、改正をしていく必要があると思いますが、今後の理事者のご協力をよろしくお願ひいたします。

さて、先日のフォーラムでの各委員長の報告と重複するところがありますが、委員会の報告です。先ずSAA委員会です。期首の目標に「会員間の笑顔がみられる明るいムードの例会にする」をあげられ、日高理事の下、失礼とは思いましたが会員歴の長い方に委員になっていただきました。委員の方にはこれまでの経験をもって、例会を明るく、楽しく盛り上げていただきました。11月7日には6回目の長崎みなとクラブとの合同例会を実施いたしました。和気藹々とした雰囲気で、楽しい時間を過ごしました。今回は初めて両クラブの米山奨学生が参加され、大いに両クラブの友好を深めることができました。この友好の関係を長く続けていきたいものだと思ったことです。又、今年度は外部卓話を実施する際、卓話者に失礼の無いよう、必ず30分の時間を確保するよう例会の進行を特に気を使っていただきました。大事なことだと改めて感じました。

会長エレクトのクラブ奉仕委員会は、もちろん川瀬会長エレクトが理事を担当されました。職業分類・会員選考委員会は牧委員長が担当され、適宜に職業分類表の変更をしていただきました。会員増強委員会は吉田委員長に担当していただきました。9月19日、川瀬理事、吉田委員長により「会員増強のクラブフォーラム」を実施し、吉田委員長が作成した「新会員情報提供書」により新会員となるような人の情報提供をお願いされたところです。又、女性会員の入会については、全会員の総意により、承認していただきました。女性会員は時代の流れです。残念ながら入会者はおられませんが、女性の入会への道筋だけは付けられました。期首の会員数は49名ですが、現在45名です。2名の増員を目標としましたが、チャーターメンバーの退会が続い



たり、新会員の情報が何件かあったのですが、私のフォロー不足ではなかったかと反省しています。1月9日に山田孝二さんが入会され、2月には卓話ををしていただきました。テレビ長崎の豊福さんが退会され、後任に松本祐明さんが入会されました。今後NCCの西さんが、6月末で退会され、7月に後任の方が入会されます。ロータリー情報・広報・雑誌委員会は下田委員長です。親睦活動委員会と連携し、4回の西会の際、会員によるロータリー情報の提供があり、その中でも1回目の下田会員、4回目の川瀬会員の話が心に残っています。又今期地区の運営方針である「ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指す」ということについても、西会員、豊福会員のお力添えで事業のテレビ放映が2回、又長崎新聞に職場訪問時の記事が載りました。

クラブ奉仕委員会は寺坂理事に担当していただきました。この委員会はSAA、川瀬理事のクラブ奉仕委員会との連携の必要がある事業も多く、大変ではなかったかと感謝しています。川口委員長による出席委員会は、全員出席例会を2回計画、実施され、出席率の良くない会員に個別に連絡し、出席を促されました。1年間の出席率は、あくまで修正平均ですが、79.87%でした。また2か月ごとの交代制のテーブルマスターで、まんべんなく会員間の会話が出来たと思われます。例会の出席皆勤が前期に比較し7名減少しました。残念ながらチャーターメンバーの退会によるものだと思います。又江上会員は、11月の地区大会の際、30年連続例会出席で表彰されました。私が15年の皆勤ですから私のちょうど2倍、これは大変なことだと思います。

親睦活動委員会は石野会員が委員長を担当されました。例会時の結婚記念日、誕生日祝い、入会祝いは例年のことですが、観月例会、忘年・新年例会、観桜例会などの移動例会では副委員長の古里さんを始め委員全員で取り組んでいただきました。特に忘年例会では、くじ引き・クイズ等で盛り上げていただきました。このときは海星高校の濱崎先生にも出席していただき、楽しい時間を過ごしました。3月の観桜例会は夫人同伴例会とし、9名の奥方を誘っていただき、これまた楽しい時間を過ごしました。また先程申しましたように、4回実施しました西会では、会員間の友情を深めることができ、特に2月の西会では、山田会員の歓迎会もかねて実施いたしました。ニコニコの目標を150万円としました。会員の減少も影響したのでしょうか、6月12日現在で、約1,100,000円です。しかし或るときには、古里さんがむしりとるようにニコニコを要求していたのが印象的です。来週の賀寿会が最後となりますので、なにとぞよろしくお願ひします。プログラム委員長は退会された、豊福さんの担当でした。年間26回の卓話者の準備をしていただいたのですが、卓話は穴をあけることはできず、講師の依頼など、本当に大変だったと思います。又講師の方は、やすらぎ伊王島の総支配人、活水女子大学の先生、井上病院の副院長、県の美術館長等々多彩な方たちでした。会員による会員卓話も実施され、特に三宅会員には、年間で2回の会員卓話を快く引き受けいただきました。又突発的な理由で例会当日卓話者が出席できなくなったとき、急遽川瀬さんにお願いしたことがありましたが、引き受けいただき何の準備もなく「暴走老人」の話を30分間されられたのには、さすがだと、舌を巻いたことでした。クラブ会報・記録保存委員会は、秋山会員が委員長を担当されました。例会、移動例会、特別の事業等の際の写真撮影、又週報作成のため事務局との連携作業でご苦労があったと思います。

職業奉仕委員会は、西会員が担当理事でした。例会時の四つのテストは、儀礼的に流れがちですが、SAAとの連携で時に笑いが起きていたのが印象的です。職業奉仕委員会は劉会員が委員長を担当されました。職場訪問例会は、5月8日「長崎新聞社」で新聞の編集作業、最新の印刷設備を見学いたしました。先程報告しましたが、見学の様子は翌日の長崎新聞に掲載されたところです。ボランティア情報委員会は安永委員長です。4月3日には職業活動並びにボランティア活動表彰として、アンデス地方の学校建設を支援され、日本とアンデスの人々との交流に力を注いでおられる、(有)アンデスの風 山崎和幸氏を表彰し、同時にその活動模様を卓話にて説明していただきました。又海星のインターラクトクラブ員の活動として養護施設の野球観戦の手伝いを要請されました。

社会奉仕委員会は中村会員が理事です。山田吉盛委員長の人間尊重委員会による卓話は、昨年同様山田恭裕会員により、「(本蓮寺にある) お奉行様の墓の話」をしていただきました。鬼木委員長の地域発展・環境保全委員会は、9月17日、海星高校のインタークトの生徒も参加し、マリア園の毛布のクリーニングの奉仕作業を実施し、搬入、搬出に併せて15人の会員に協力いただきました。毎年のことですが、三宅会員のご協力に感謝いたします。この模様は、西さんの口添えでNCCが取材し、放映されました。また、桜の植樹を昨年同様、唐八景公園にて実施し、今年は併せて公園内の清掃活動を実施いたしました。この模様は、豊福会員の口添えでKTNが取材され、放映されました。これは毛布クリーニングの際のテレビ放映とあわせて、地区方針の「ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指す」ことに沿ったものでした。植樹のあと、京華園での食事会は大いに盛り上りました。

国際奉仕委員会は平山会員に理事を担当していただきました。11月のロータリー財団月間に際しては、21日のクラブアッセンブリーにて、平山理事から財団への寄付の意義、そして依頼の説明があり、同時に野崎米山奨学委員長からは、米山への寄付の依頼の説明がありました。世界奉仕委員会は江上委員長です。先日のフォーラムの委員長報告において江上会員が説明されていたことですが、「グラバー奨学生交換事業」が交換先のアバディーン市のロータリークラブの都合で停止している状態です。過去10名程の交換留学生を派遣している実績があり、ガバナー補佐である中村さんが尽力されていますので、再開できればと期待しているところです。ロータリー財団委員会は馬場会員が委員長をされました。財団への寄付の促進、財団の情報提供が主な任務です。年間1人120ドルの目標で、例会時に積立用の寄付袋を用意していましたが、クラブからの繰入を含め、418,520円でした。財団への寄付の表彰ですが、平山会員が「第3回マルチプルPHF」、安永会員が「第2回マルチプルPHF」の表彰を受けられていることをご報告いたします。財団については、いろいろとご意見があることは承知していますが、今後さらなるご協力をお願ひいたします。米山記念奨学委員会は野崎委員長が担当されました。例会時に米山袋を用意され、また例会の中で数回米山記念奨学への理解を求める説明をされておられましたのが印象に残っています。寄付の目標は年額637,000円ですが、クラブからの繰入を含めると最終的には707,000円の予定で、達成致しています。この間、3月まで奨学生であったエルさんのカウンセラーには島田会員が、又4月からリョウさんのカウンセラーには江上会員が、長崎のお父さんとしてお世話されているところです。エルさんの4回の出前卓話には島田会員が各クラブに同行されていました。又、米山奨学記念への寄付の表彰ですが、田中克憲会員が「第8回米山功労者」、島田会員が「第5回米山功労者」として表彰されておられます。なお、事務局によれば、現在預かっている積立金を送金すると、江上会員が「第4回米山功労者」、牧会員が「第5回米山功労者」に該当されるそうですが、表彰は来期のこととなります。

青少年奉仕委員会は、当初山口健太郎さんが理事でしたが、業務の都合で退会されたので嶽本会員に代わっていただき、併せて青少年委員会は嶽本委員長から北口委員長に変更いたしました。例年同様、夏まつり(浦上養育院)、クリスマス会(浦上養育院、マリア園)に参加されました。又、養護施設の児童を招待し(マリア園、明星園13名)、3月4日ビッグNにてプロ野球オープン戦を観戦いたしました。この事業には、海星高校のインタークトクラブの生徒7名にも協力を求め、濱崎先生も出席されて実施いたしました。5月26、27日のRYLAですが、北口会員、嶽本会員が出席し、亀山電機の若手社員5名が参加されました。私は前からこの日は都合がつかず、欠席しましたが、北口会員の言のように、近年会員の出席が少なくなっているのはさびしいかぎりです。インタークト委員会ですが、

市川会員が委員長をされました。7月29日年次大会(出席濱崎先生、市川委員長、山田吉盛地区委員)、8月19日~20日全国インタークト全国会(出席濱崎先生、山田吉盛地区委員)がありました。種々の理由で、インタークトクラブ員が

減少していますが、マリア園の毛布のクリーニングの事業、養護施設を招待しての野球観戦に協力していただきました。又野球観戦の後、3年生の追出し会をニューロン長崎のレストランにおいて実施し、3年生2名、1年生3名、濱崎先生も出席され、和やかな時間を過ごしました。濱崎先生と云えば、例会時に卓話をしていただいたことが思い出されます。かつてインタークトクラブに所属していた卒業生が、「クラブで活動したことを見ても誇りに思っている」ということを話されたことが、印象に残っています。来々期は、海星高校が年次大会のホスト校に決まっていますが、先日新しい部員が10名程入部したとのことを聞きました。濱崎先生はやる気満々です。来期から準備に取り掛かられます、当クラブはホストクラブとなりますので、出来得る限りの協力が必要と思います。又この間、各理事にはお忙しい中、地区が主催するセミナー、研修会に参加していただいております。本当にお疲れ様でした。

ゴルフ同好会は、今期も活発に活動され年4回のコンペを開催されました。又5月13日の、第9、10グループの親睦ゴルフ大会には7名の会員が参加され、失礼ながらそこそこの成績を収められたと聞いております。ウォーキング同好会が再発足するかなと、期待したのですが、日程がクラブの事業とダブってしまい実施されなかつたことは残念です。

最後になり申し訳ありませんが、これはクラブとは直接の関係がないことですが、たいへん喜ばしいことがありました。許斐会員が春の叙勲で、「旭日小綬章」を受章されたことです。私の記憶では過去に会員で受章されたのは、田中克憲会員、退会されました吉田省三さん、齋藤先生の3人です。仲間である会員が名誉ある受章をされる、私たちも誇りに思います。

最後に、何とか1年間の会長の任を勤められたのは、理事の皆さん、各委員会の委員長、何より会員の皆さん、そして至らない私を補佐してくれた深堀幹事、事務局の中田さん、又例会場のニューナガサキのスタッフの方たち、毎回笑顔で私たちを迎えていただいた親和銀行の鈴木さんのおかげであると、心から感謝して1年間の報告とします。

2017-18年度幹事挨拶 幹事 深堀俊一

皆さん、こんにちは。幹事になって1年間、皆様には本当にお世話になりました。幹事になって何が一番良かったかといいますと、組織の流れとか、お金の流れとかそういう部分が良く見えてきたことが、とてもプラスになったと思います。逆に、見えてきたことによって、手を抜けなくなつたというのは事実でございます。本当に会長、事務局の中田さんに、おんぶにだっこという形で1年間過ごして参りましたが、各委員会の委員長さんとか理事さんとの接触が増えたことで、皆さんとの交流が増えたと思いました。

先ほどの会長挨拶にもありました、「刹那」という、そこまではいきませんが、過ぎてみると あつという間でした。ご指名をいただき、良い体験をさせていただいたと思っております。皆様1年間、ありがとうございました。

